



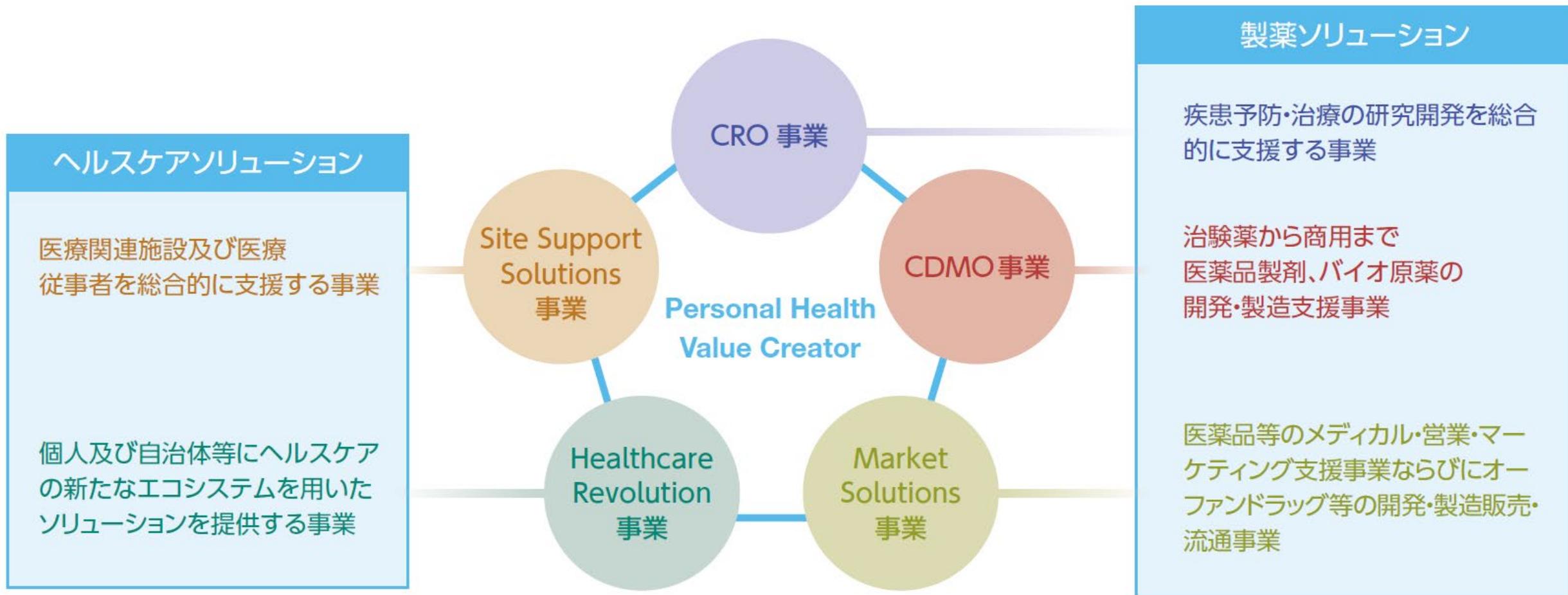
# 2023年9月期 第2四半期 決算概要

(2022年10月1日～2023年3月31日)

シミックホールディングス株式会社

2023年4月28日

# グループ事業内容



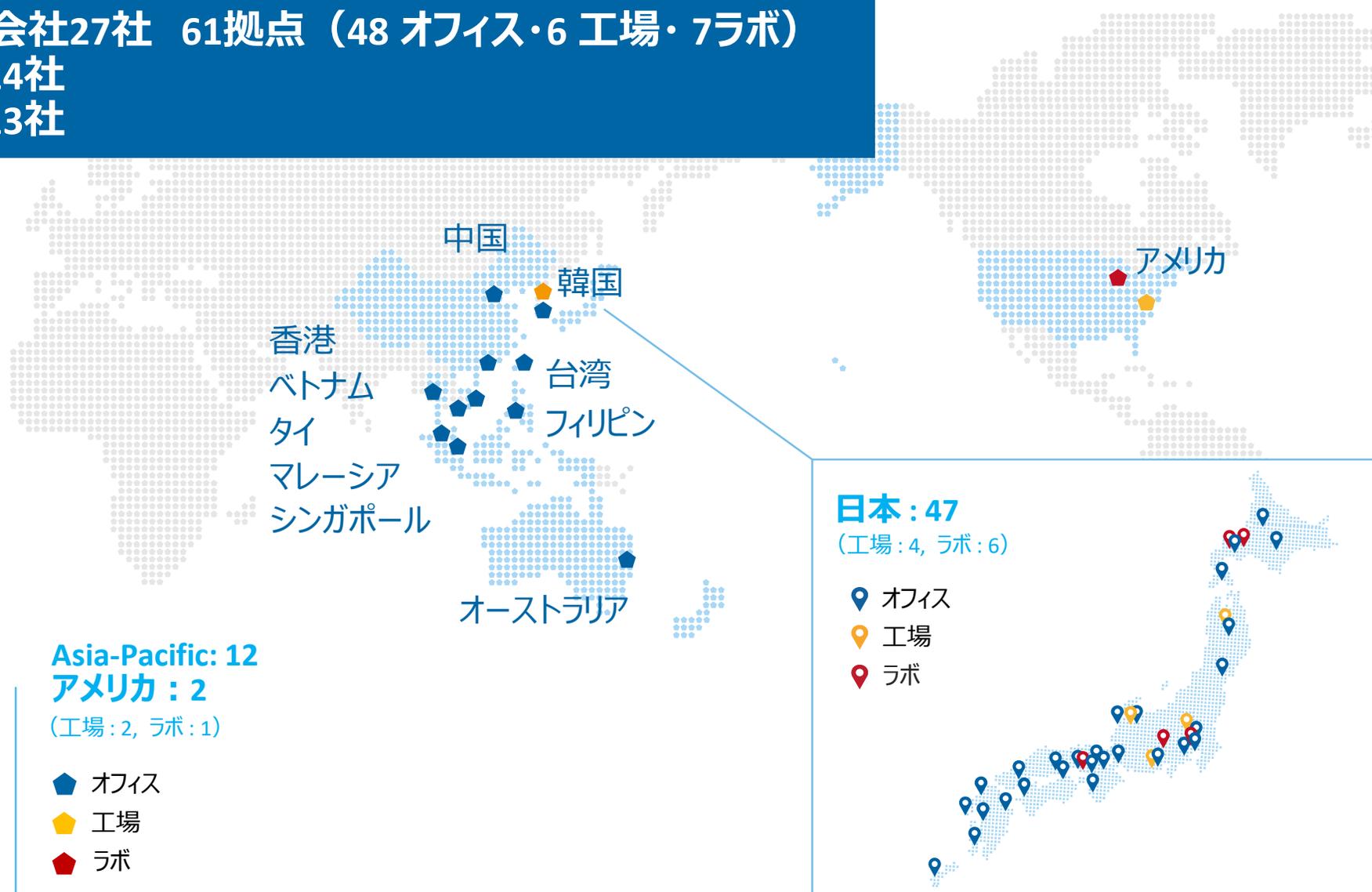
# グループ拠点展開



グループ会社27社 61拠点 (48 オフィス・6 工場・7ラボ)

国内 14社

海外 13社





ヘルスケアビジネスの進展

疾患予防・治療の研究開発から販売まで  
総合的な支援の強化

社会的有益性の高い事業を通じた  
サステナブルな社会への貢献





## ヘルスケアビジネスの進展



### ➤ 自治体支援業務の拡大

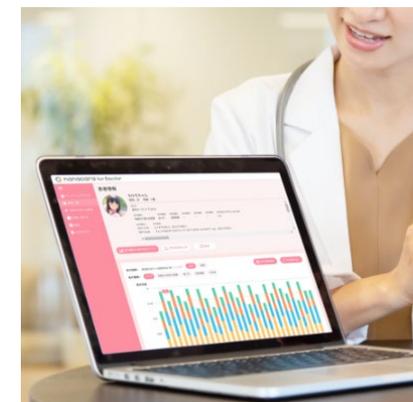
- 感染の予防から感染後のフォローアップまで、コロナウイルス感染症対策を総合的に支援
- 新たな自治体向けソリューション提供

### ➤ 個人の健康価値向上を目指したデジタルプラットフォームの強化

- 患者・家族向け支援プラットフォーム「nanacara」を軸にした事業展開
- オケイオスとパーソナルデータを活用したビジネス展開



オケイオス





## 疾患予防・治療の研究開発から販売まで 総合的な支援の強化

- **医薬品の開発から製造、営業・マーケティングまで総合的な支援 – PVCモデル –**
  - 日本市場進出や異業種からのヘルスケア領域参入コンサルティング
  - モダリティの多様化が進む先端領域の有効性・安全性評価・分析
- **製造販売等の許認可とPVCのバリューチェーンを組み合わせた支援**
  - 尿素サイクル異常症治療薬の国内開発

※尿素サイクル異常症 (Urea Cycle Disorders: UCD)

肝臓の尿素サイクルの酵素が先天的に欠損することにより、アンモニアが代謝できず、高アンモニア血症を来す。





## 社会的有益性の高い事業を通じた サステナブルな社会への貢献

- 第14回「国際児童絵画コンクール」の共催、  
第19回「日本エイズ学会 学会賞（シミック賞）」の授与  
「Rare Disease Day 2023」に協賛
- 障がい者アスリート支援



# 連結損益計算書（要約）



	FY2022 Q2		FY2023 Q2			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	51,769	100.0	<b>59,883</b>	100.0	+8,114	+15.7
営業利益	5,743	11.1	<b>8,546</b>	14.3	+2,803	+48.8
経常利益	6,169	11.9	<b>7,665</b>	12.8	+1,495	+24.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,503	6.8	<b>6,545</b>	10.9	+3,042	+86.8
1株当たり 四半期純利益	194円07銭		377円14銭			

【ウクライナ情勢の影響について】

当第2四半期連結累計期間において当社グループに直接的に大きな影響はありません。

# 営業外損益・特別損益・税金費用・非支配株主損益の内訳



(百万円)

	FY2022 Q2	FY2023 Q2		FY2022 Q2	FY2023 Q2
営業外収益内訳	530	63	特別利益内訳	—	3,349
受取利息	1	5	投資有価証券売却益	—	3,349
為替差益	467	—			
助成金収入	13	26	特別損失内訳	51	86
その他	47	30	固定資産除却損	43	27
			投資有価証券評価損	8	11
営業外費用内訳	104	945	子会社整理損	—	47
支払利息	74	94			
為替差損	—	809	法人税等	2,631	4,388
持分法による投資損失	—	19			
その他	29	22	非支配株主に帰属する当期純損益	△17	△6

# 報告セグメント別売上高および営業利益



		FY2022 Q2 (百万円)	FY2023 Q2 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
製薬ソリューション	売上高	36,820	<b>42,309</b>	+5,488	+14.9
	営業利益	2,326	<b>3,559</b>	+1,233	+53.0
ヘルスケアソリューション	売上高	15,262	<b>18,443</b>	+3,181	+20.8
	営業利益	4,182	<b>5,892</b>	+1,710	+40.9
調整額	売上高	△314	△ <b>870</b>	△556	—
	営業利益	△765	△ <b>905</b>	△139	—
合計	売上高	51,769	<b>59,883</b>	+8,114	+15.7
	営業利益	5,743	<b>8,546</b>	+2,803	+48.8

## \* 調整額

売上高は、報告セグメント間取引の内部消去であります。

営業利益は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社（持株会社）に係る費用であります。

# 受注高・受注残高



	FY2022 Q2		FY2023 Q2			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
製薬ソリューション	44,327	77,688	<b>40,737</b>	△8.1	<b>76,772</b>	△1.2
ヘルスケアソリューション	15,334	16,947	<b>19,915</b>	+29.9	<b>17,900</b>	+5.6
合計	59,661	94,636	<b>60,653</b>	+1.7	<b>94,672</b>	+0.0

# 売上構成比



FY2022 Q2

ヘルスケアソリューション

29.3%

売上高

51,769百万円

製薬ソリューション

70.7%

営業利益 5,743百万円

営業利益率 11.1%

FY2023 Q2

ヘルスケアソリューション

30.4%

売上高

59,883百万円

製薬ソリューション

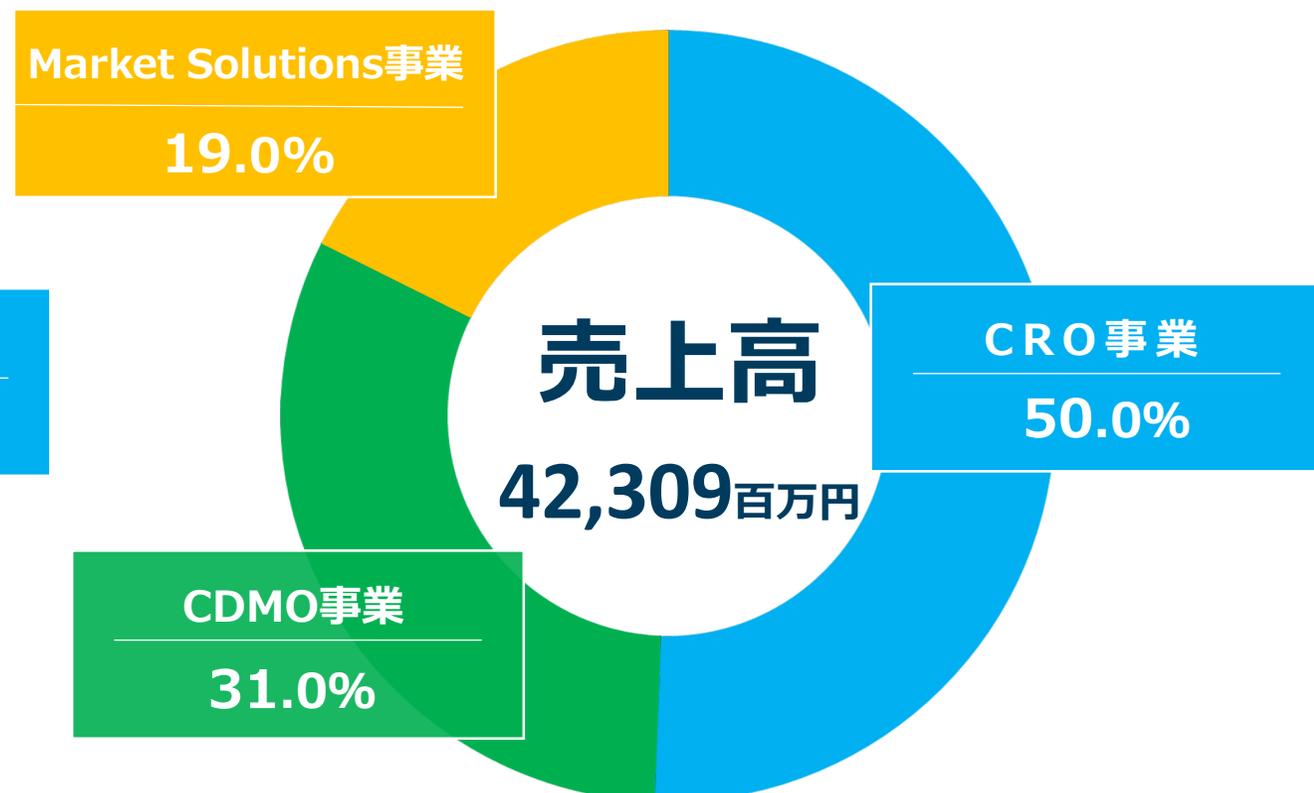
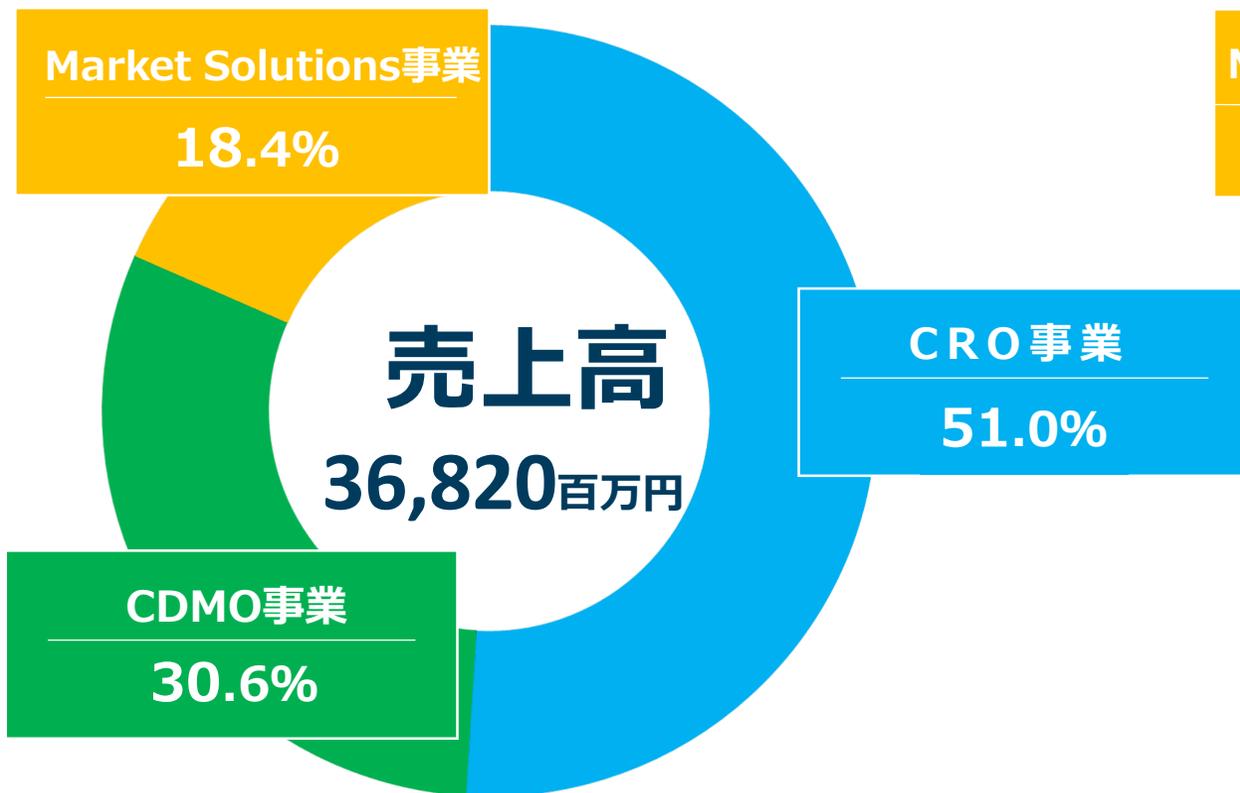
69.6%

営業利益 8,546百万円

営業利益率 14.3%

## FY2022 Q2

## FY2023 Q2



営業利益 2,326百万円

営業利益率 6.3%

営業利益 3,559百万円

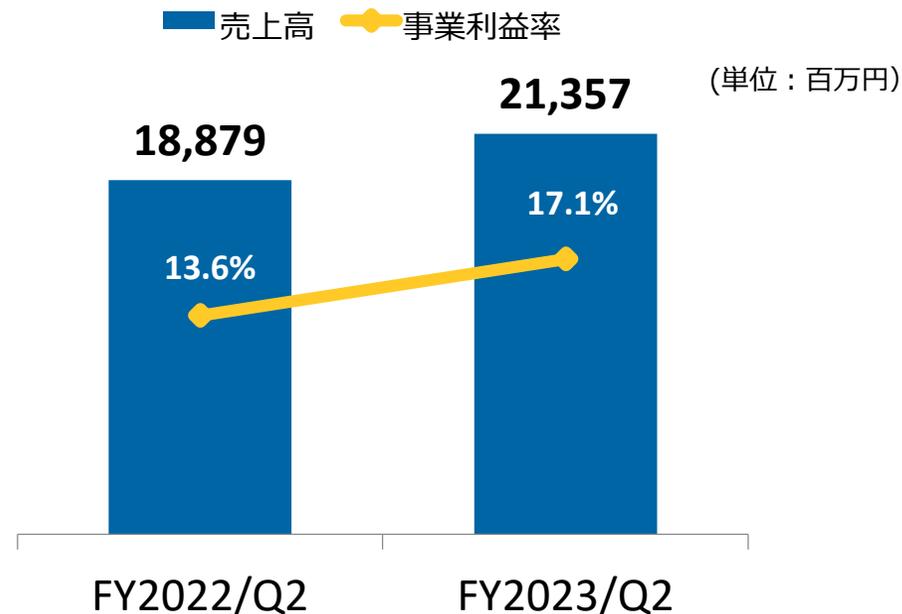
営業利益率 8.4%

# 事業セグメント — CRO事業 —

## 疾患予防・治療の研究開発を総合的に支援する事業

### 事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- 海外バイオベンチャーの日本進出や異業種のヘルスケア領域参入等の総合コンサルティング強化
- DX（Digital Transformation）推進やDTx（Digital Therapeutics）参入支援の増加
- 次世代抗体医薬、核酸医薬、遺伝子治療薬、バイオマーカーなど、モダリティの多様化が進む先端領域の有効性・安全性評価・分析案件増加



### 重点取組事項

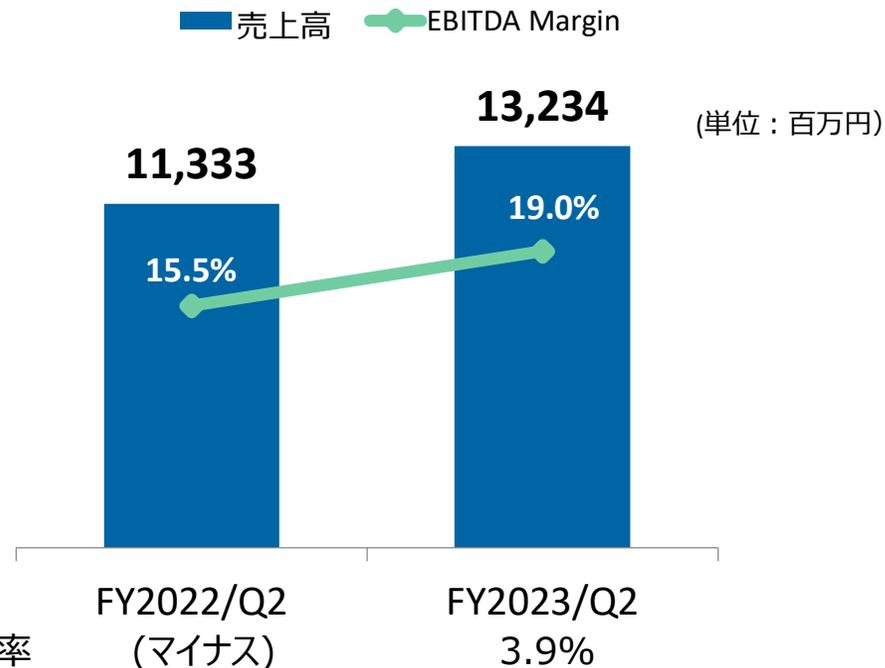
- バイオ・再生医療等の先端領域の開発支援強化 (アカデミア・BVから承認申請をフルサポート)
- DCTやRWDなどデジタル活用
- 日米ラボ連携による核酸医薬の積極的受託
- 多国間試験の積極的受託 (アジア共同治験、日米バイオ測定ビジネス)
- US、アジアビジネス展開
- 国内市場におけるNo.1シェア目標

# 事業セグメント – CDMO事業 –

## 治験薬から商用まで医薬品製剤ならびにバイオ原薬の開発・製造支援事業

### 事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- 新型コロナウイルス感染症拡大やジェネリック品質問題の影響に対し、安定供給の確保に向けたニーズが拡大
- エネルギー、原料、包装資材などの価格上昇による製造原価増加
- 納期の長期化などの供給不足リスクに顧客や調達先と連携して対応
- 米国の業績回復遅れ、新規案件獲得に注力



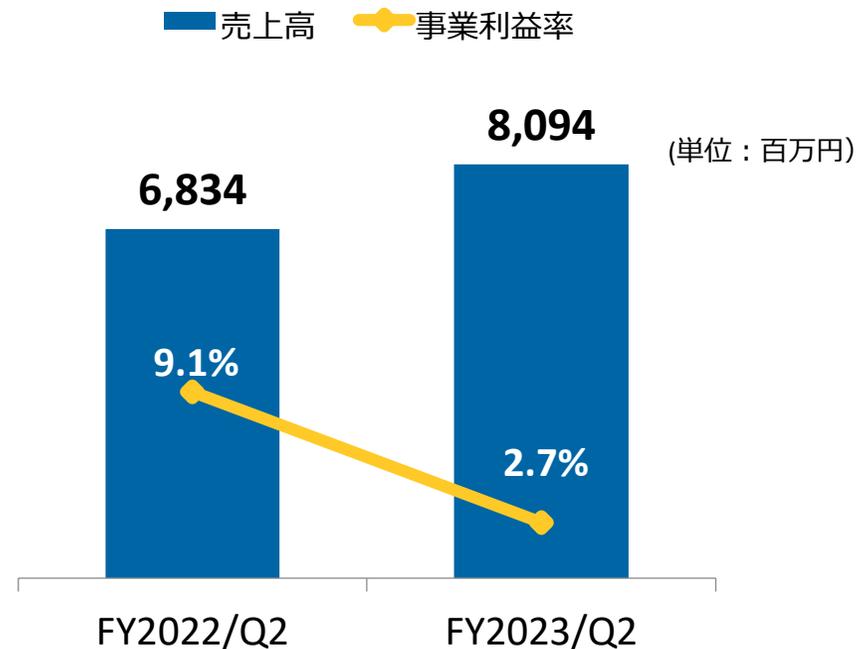
### 重点取組事項

- 足利注射剤棟生産の確実な実施と収益貢献
- 製剤技術のライセンス事業の本格展開 (マイクロニードル他)
- US新サイトでの業務拡大
- 国内製薬企業の戦略的パートナーとしての位置づけ強化

医薬品等のメディカル・営業・マーケティング支援事業ならびにオーファンドラッグ等の開発・製造販売・流通事業

## 事業概況

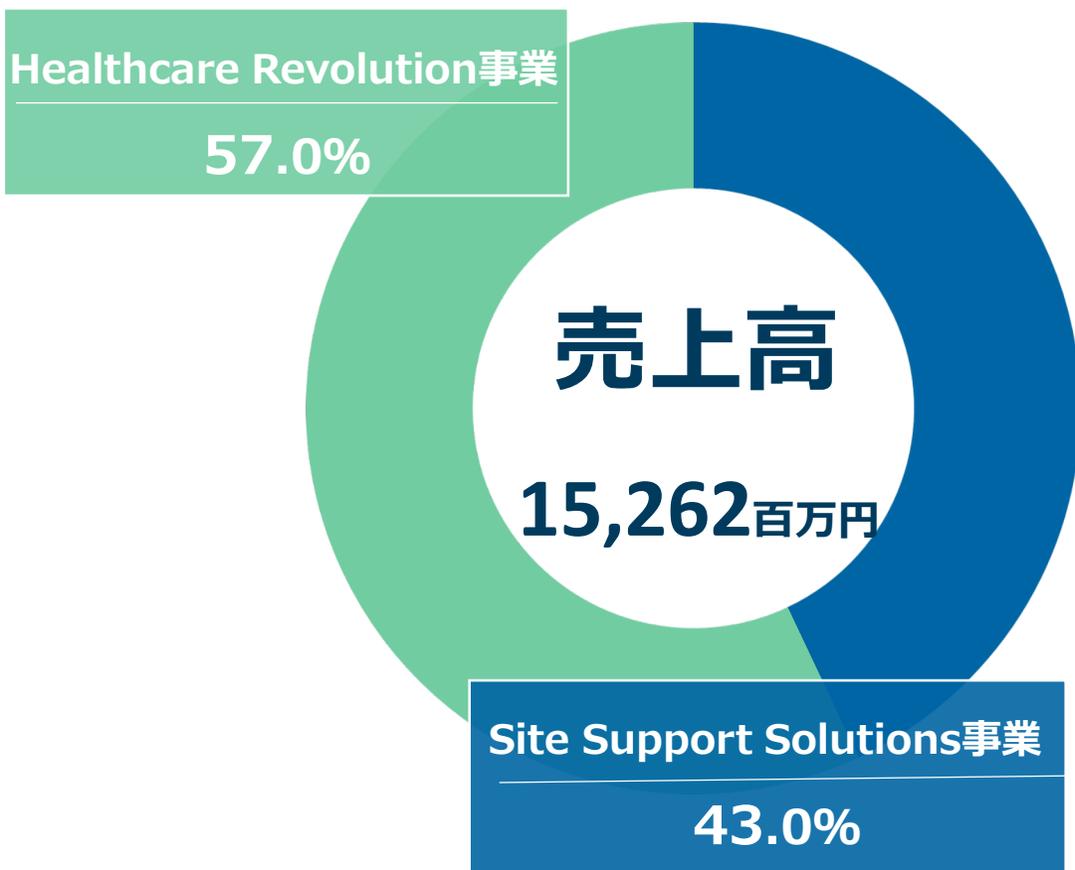
- 売上高は前年同期を上回る
- MR派遣業務の引き合いが順調
- 尿素サイクル異常症治療薬グリセロールフェニル酪酸（海外販売名 Ravicti®）の日本国内第Ⅲ相臨床試験開始とこれに伴う研究開発費の増加



## 重点取組事項

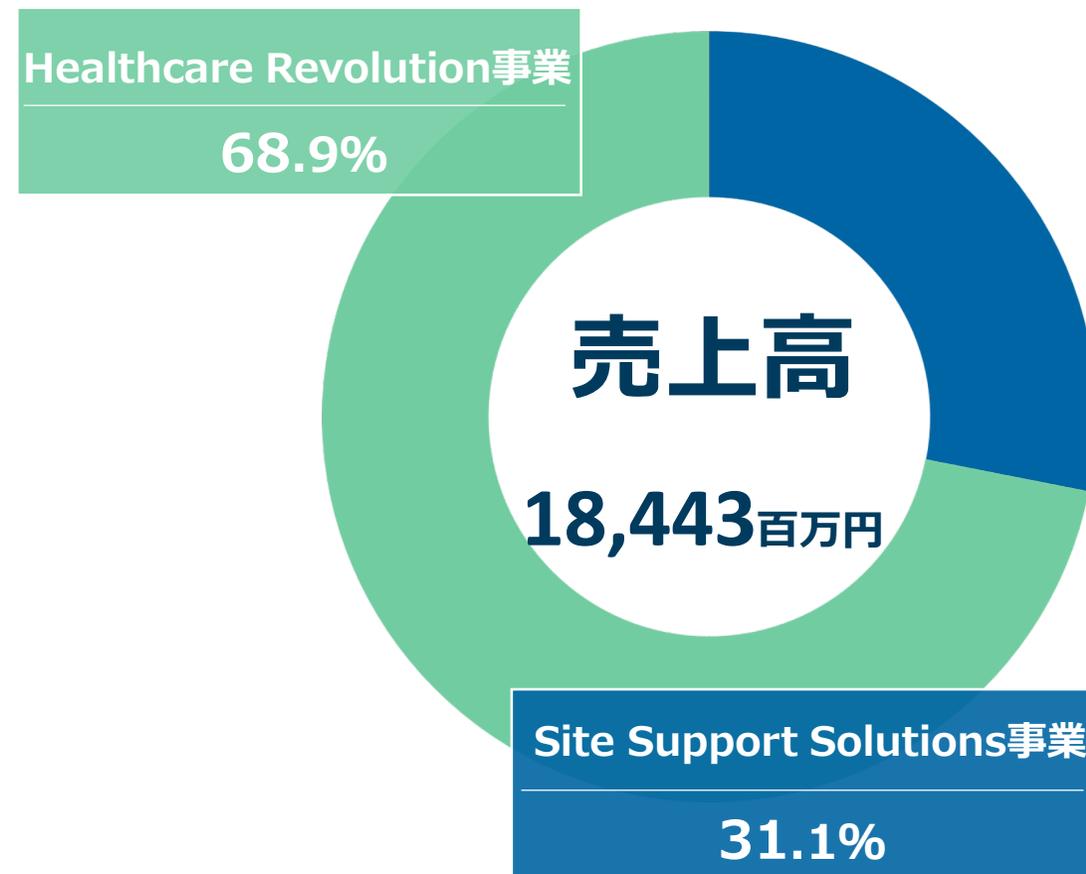
- MR派遣ビジネスでのポジショニング拡大
- MR、MSLの効率的採用
- ハイブリッドサービスの提供
- マルチチャネルの促進
- 新規オーファンドラッグの開発
- 海外製薬企業の日本市場進出支援

## FY2022 Q2



営業利益 4,182百万円  
営業利益率 27.4%

## FY2023 Q2



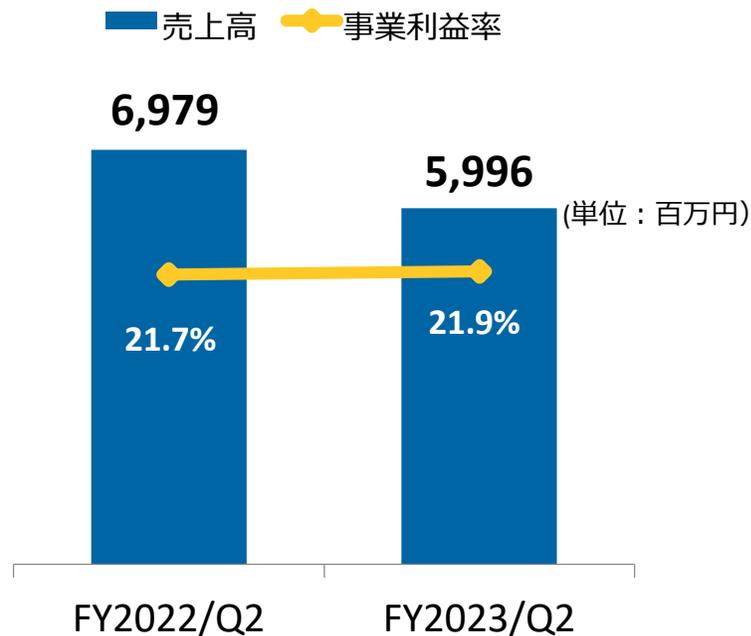
営業利益 5,892百万円  
営業利益率 31.9%

# 事業セグメント – Site Support Solutions事業 –

## 医療関連施設及び医療従事者を総合的に支援する事業

### 事業概況

- 大型の新型コロナウイルス感染症ワクチン開発案件の減少により、売上高は前年同期を下回る
- 堅調な受注獲得
- 医療機関の治験事務局支援が拡大
- アカデミアとの連携拡充



### 重点取組事項

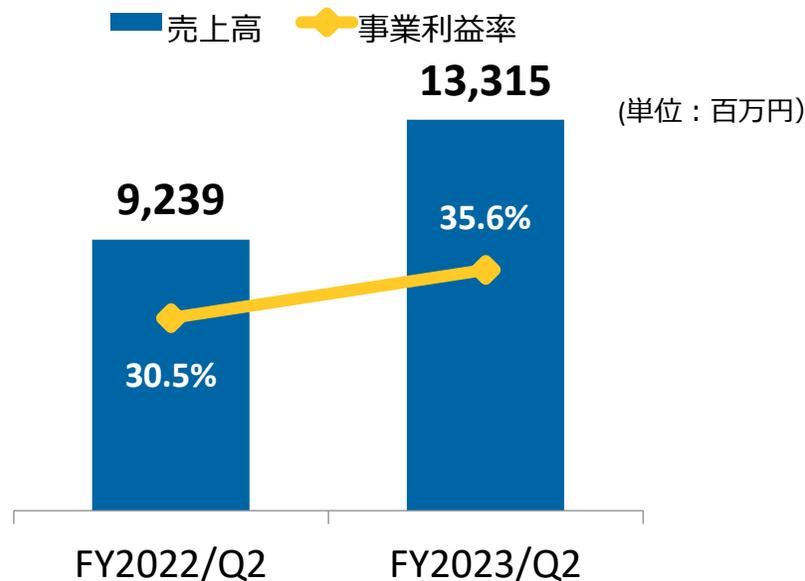
- 治療から予防・予後マーケットへの展開  
(予防治療薬やアプリ治験)
- 大学病院ネットワーク等への支援
- 地域医療におけるサービス提供

# 事業セグメント – Healthcare Revolution事業 –

個人及び自治体等にヘルスケアの新たなエコシステムを用いたソリューションを提供する事業

## 事業概況

- 売上高は前年同期を大幅に上回る
- 新型コロナウイルス感染症関連の支援業務を継続
- 疾病予防・健康情報やIT技術を融合したビジネスの拡大に取り組む
  - てんかん患者・家族向け支援プラットフォーム「nanacara」の導入医療機関の増加と、「nanacara」を基盤としたサービスの対象疾患拡大
  - デジタル田園都市国家構想に沿った地方自治体の事業支援



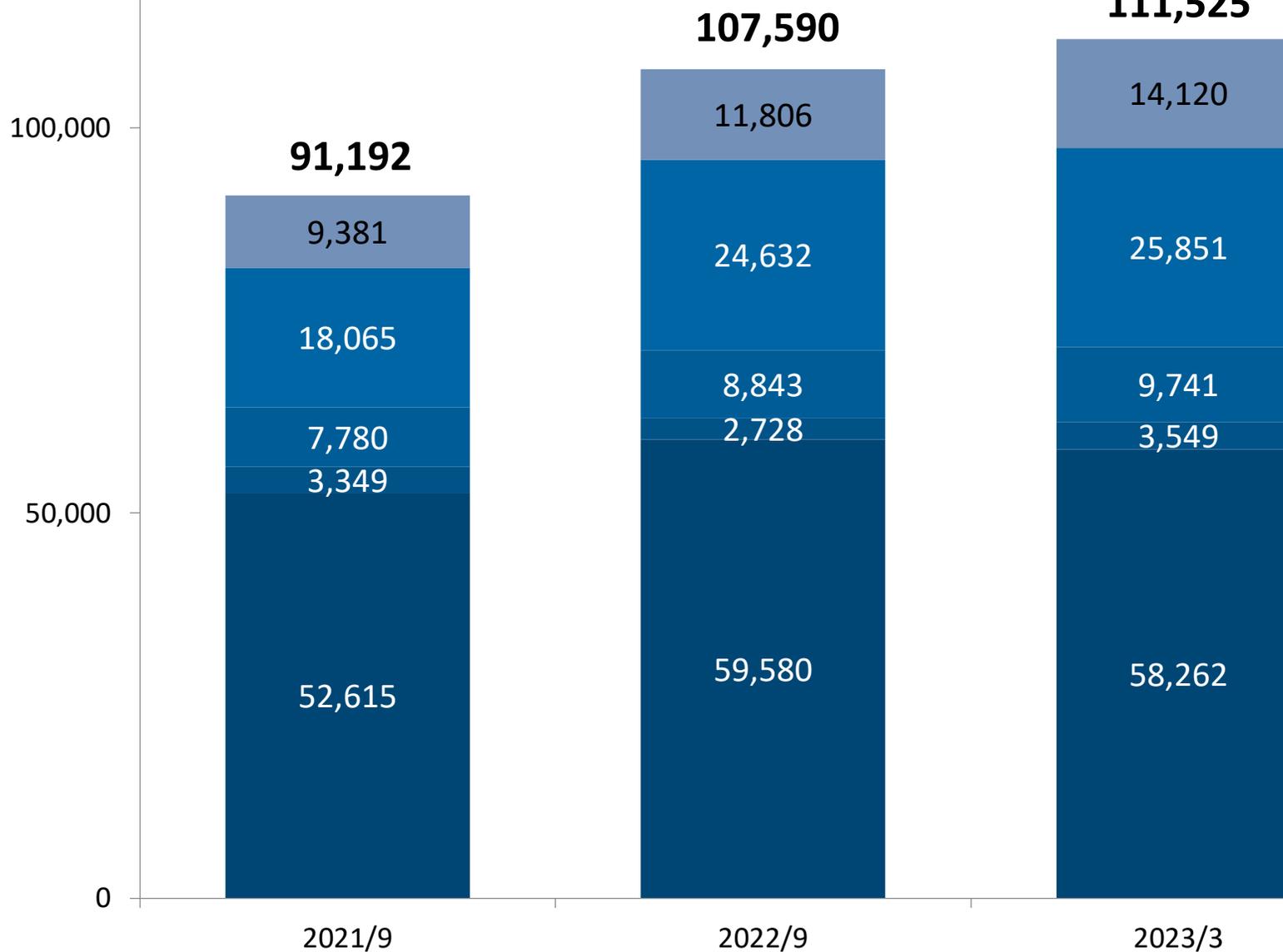
## 重点取組事項

- harmo®を使ったヘルスケアサービス拡大とデータ利活用
- 自治体、企業向けヘルスケアサービスの拡充
- セルフチェックサービスの展開
- ヘルスケア人財の育成、確保

# 連結貸借対照表（資産の部）



(百万円)

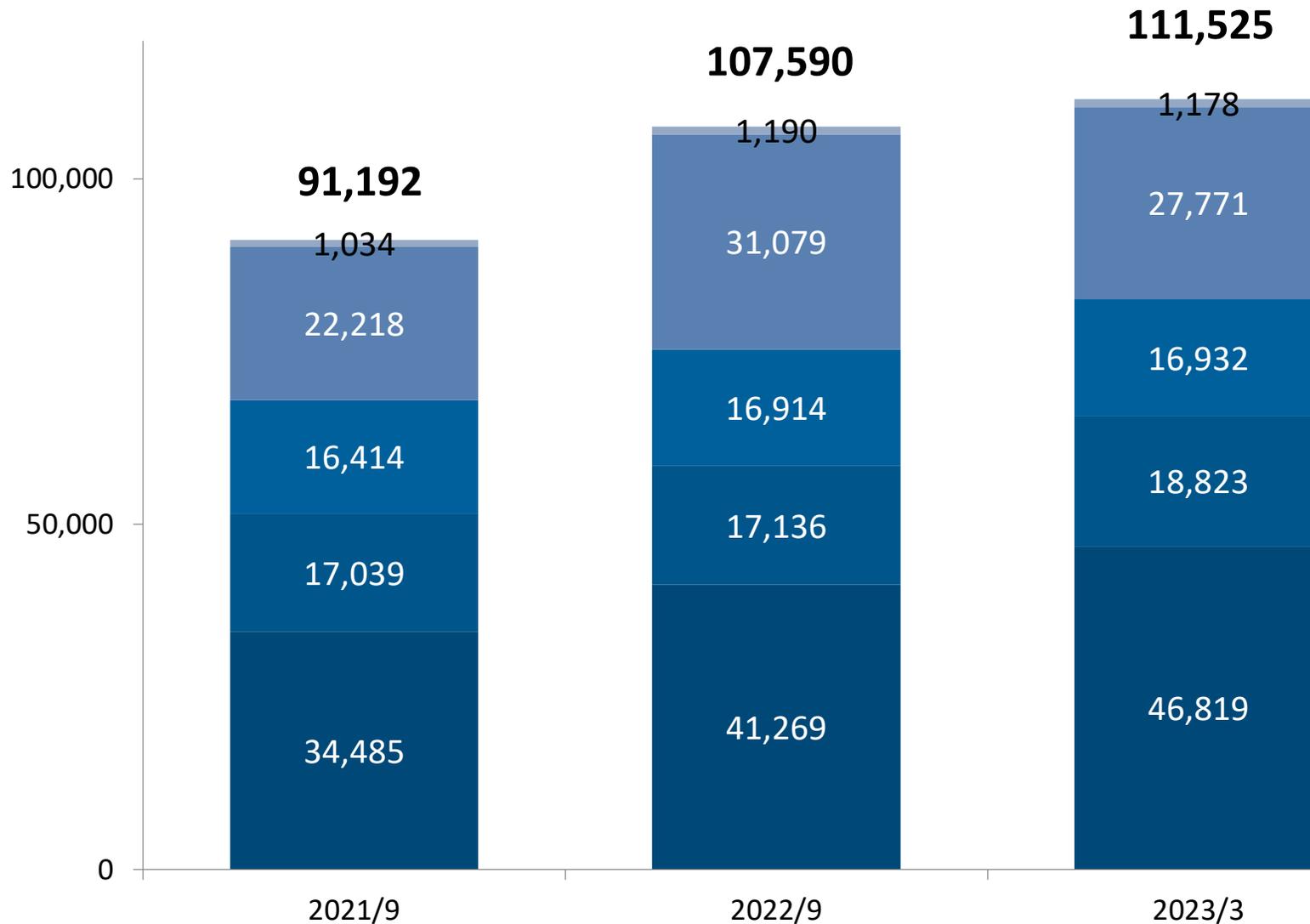


総資産	+3,935
■ 現預金	+2,314
■ 売上債権	+1,219
■ 棚卸資産	+898
■ その他流動資産	+821
■ 固定資産	△1,317

# 連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）



(百万円)



仕入債務	△11
その他流動負債	△3,308
その他固定負債	+18
有利子負債 (リース債務を除く)	+1,686
純資産	+5,549

# キャッシュ・フロー



	2022/3	2023/3	(百万円) 増 減	
営業活動によるCF	4,011	2,168	△1,842	【主な内訳】 (営業活動によるCF) ・税金等調整前四半期純利益の計上による資金増加、 法人税等の支払、賞与支給による資金減少等
投資活動によるCF	△3,682	267	+3,950	
財務活動によるCF	906	△114	△1,020	(投資活動によるCF)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△278	△40	+237	・投資有価証券売却による資金増加、 固定資産の取得による資金減少等
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	956	2,281	+1,325	(財務活動によるCF)
新規連結に伴う現金及び現金同等物の 増加額	60	—	△60	・長期借入れによる資金増加、 配当金の支払い、自己株式取得による資金減少等
現金及び現金同等物の期首残高	9,379	11,703	+2,323	
現金及び現金同等物の期末残高	10,395	13,984	+3,588	



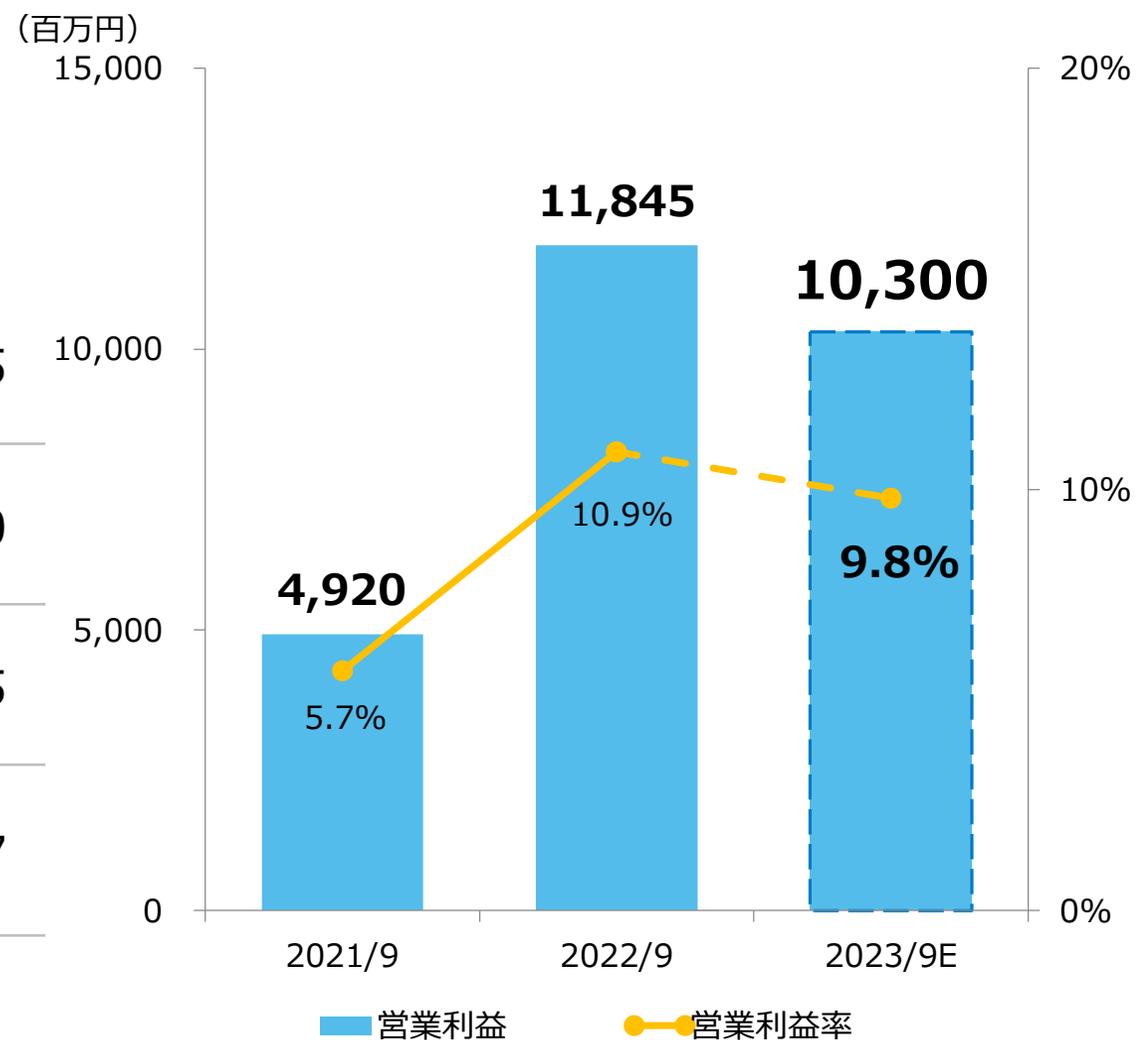
# 2023年9月期 業績見通し



# 2023年9月期 通期見通し



	2022/9 実績 (百万円)	2023/9 当初計画 (百万円)	2023/9 修正見通し (百万円)	対当初計画 増減率 (%)
売上高	108,461	95,000	<b>105,000</b>	+10.5
営業利益	11,845	5,000	<b>10,300</b>	+106.0
経常利益	13,450	4,700	<b>9,000</b>	+91.5
親会社株主に帰属 する当期 純利益	8,387	2,900	<b>7,300</b>	+151.7
1株当たり 当期純利益	469円44銭	165円23銭	<b>420円42銭</b>	





## 本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

